

# SMFL 熱供給参入

## 太陽光発電 ノウハウ活用 万博会場で施設運用

三井住友ファイナンス&リース(SMFL)は、熱供給事業に参入する。第1弾として子会社のSMFLみらいパートナーズ(東京都千代田区)がダイダンなど3社と共同で、2025年の大阪・関西万博会場(大阪市此花区)の熱供給施設運用などの委託業務を落札した。落札額は7億7000万円。協力企業と連携しながら、国内太陽光発電事業で培ったエネルギー供給ノウハウを熱供給施設の運用に横展開する。

### 設計から撤去まで

大阪・関西万博会場 熱供給設備の設計・施工から運転管理 閉会後の撤去・搬出までの

社名	役割
SMFLみらい	案件全体の統括業務、機器などの所有
ダイダン	機器などの設計・施工
Daigas エナジー	機器などの運転管理
SMART	機器などの解体・撤去・搬出

一連の業務を担当する。同設備から地下經由で各パビリオンに冷水や温水を供給し、空

調用などに使用する。万博終了後は設備のリサイクルやリユース(再使用)を検討している。SMFLみらいが代表企業として案件全体の統括業務とファイナンス、機器などの所有を担当。ダイダンが設計や施工、

Daigas エナジー(大阪市中央区)が運転管理、SMART(名古屋市中区)が撤去や搬出を担う。

SMFLは19年4月に関西成長戦略室を設置。大阪・関西万博関連のビジネス開拓を進めていた。SMFLみらいは顧客企業の工場の屋根などに設置した太陽光パネルで発電した電力を顧客企業に販売するといった太陽光発電のオンサイトPPA(電力販売契約)サービスを4月末時点で67カ所、合計容量約6万3000キロワット展開している。

この実績を熱供給施設の運用委託事業に生かすため、提案活動を進めていた。